

第 3 回

第 9 期印西市高齢者保健福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会 会議録（要旨）

令和 5 年10月12日

**第 3 回 第 9 期印西市高齢者保健福祉計画及び
介護保険事業計画策定委員会
会議録(要旨)**

会議体の名称	第 9 期印西市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会	
事務局	印西市高齢者福祉課	
開催日時	令和 5 年 10 月 12 日（木）午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分	
開催場所	印西市役所本庁舎別館 農業委員会会議室	
議題	1. 開会 2. 議題 （1）第 9 期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画のアンケート調査のまとめ （2）計画の構成案について （3）事業の進捗状況について （4）その他 3. その他 4. 閉会	
出席者	委員	川久保平一、宮崎康子、永代成日出、中島信行、松信精一◎、加藤友輔○、羽多野陽子、近藤幸一郎、柴田勇介、蓮實篤裕 ◎は委員長 ○は副委員長 欠席 大内美弥子、永田庄吾
	市（事務局）	課長澤田、課長補佐山田、櫻井、小塚、鈴木、佐藤 （委託業者 株式会社ぎょうせい 主任研究員小林）

傍聴人 1 名

配付資料	● 会議次第 ● 資料 1 第 9 期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画のアンケート調査のまとめ ● 資料 2 計画の構成案について ● 資料 3 事業の進捗状況について ● 当日配布 現在策定中の施策の試評価（案）について
------	--

【会議録】※氏名記載省略、敬称省略

1. 開会

(委員出席等について確認)

2. 議題

(1) アンケート調査結果報告書について

資料1に沿って、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査まとめの概略を説明。

○委員 アンケート資料81頁に出てくるパンフレットの配布方法について教えてください。

○事務局 市の本庁舎、支所、地域包括支援センターに置いてあり、ご相談来た方に配付しております。また、ホームページでも閲覧できるようにしてあります。

○委員 サービスの内容や手続きについて、必要とする方全員が簡単に知ることができる仕組みをつくるのが重要だと思います。包括支援センターがあることを知らない高齢者もいると思いますので、65歳以上の方全員に配付するなどの方法を次期計画では考えていただきたい。

(2) 計画の構成案について

資料2に沿って、第9期介護保険事業計画の概略を説明。

○委員 第2節の「市が目指す地域包括ケアシステム」について、印西市の独自性の高いものにしてほしい。それから、前回も質問しましたが、地域包括支援センターの負担軽減とありますが、どのような背景で出て来たのか教えてください。

○ぎょうせい 背景的なことは私どももわからないというのが結論です。これは個人的な意見を含んでいるので正解とはいえないと思いますが、6期から計画策定に携わっている人間からしても、各地域で今問題になってる状態で、負担軽減をしようっていうのは、逆に逆行してるように私も感じております。ただ、負担軽減というのは国として単純に金額を減らしたいといった意図で使う場合があるので、自治体としては注意する必要があると個人的には思っております。国の方針としてこのように出ていますが、各地域でよく考えた上で、結論を出したほうがよいだろうと思っております。背景的には、今お話した通りではないかと推察しております。

○事務局 国方針としては出ていますが、確実性という観点では負担軽減になるのかというのは見えない状況だと思っております。地域の実情に応じてと国の方針でもありますが、それにも限りがあるので負担軽減が図れるのか、見極めが重要で、探っていくことになると考えております。

○委員 印西市は5圏域あって、その圏域毎に状況が違っている中で、印西市の掲げている基本目標を実施していくのが難しいと思っております。各地域の状況に応じて、地域包括支援センターの動きも変わっていくのかと思っております。近隣自治体と同じものにはしてほしくないと思います。それから、全体的に介護人材が少ないなかで、リスクマネジメント対策や虐待に対する対応、サービスの継続も考えるというのはなかなか難しいです。県内で特養がつぶれているのがあって、現場のニーズを汲んだ施策を実施してく

れるとありがたいです。

(3) 事業の進捗状況について

資料3に沿って、事業の進捗状況についての概略を説明。

- 委員 資料の課題のところに何が原因であったのかを載せたほうがより理解しやすいのではないかと思います。その方が、今後どうやって改善していくかというのが、明確になるのではないかと思います。
- 委員 評価として、ABCDがのっていますが、廃止になるものは現況ないのかと考えております。全く別の観点から全面的に抜本的に改善するために新しい事業をやるなどそういった視点を持ってほしいと思います。
- 委員 評価方法について、第一期から同じ方法なのか、それとも各期によって異なるのか教えてほしいです。
- 事務局 各期において評価というのは実施してきました。第9期に関しては、新たに個別数値まで踏み込んで実施をしているところになります。先ほど、別の委員からご意見があったとおり今後どうやって改善していくといった形にはなっておりませんでした。今回は、委託業者のぎょうせいに相談して、今までとは違った評価シートを作成しました。
- 委員 通常、事業を行う時には目的があるじゃないですか。その目的に対して、実現するための目標とか、目標数値っていうのを作る。事業の中には数値化できないものも含んでいると思いますが、そういったものは以前にはなかったのでしょうか。
- 事務局 第8期計画でいうと、計画書の24ページにでていたような相対的な評価というものを公表してきました。
- 委員 主観的な評価ではなく、ちゃんとフィードバックしないと次につながっていかないのではないかと思います。そうしないと計画や事業がちゃんと実績を積めていることが示せないのかとも思いました。

(4) その他

特になし

3. その他

次回策定委員会につきましては、準備が整い次第委員の皆様へ通知し、調整をしたいと思います。

4. 閉会

以上

第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会第3回会議の議事録は、
事実と相違ないことを承認する。

議事録署名人 川久保 平一

議事録署名人 宮崎 康子